

2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月7日

上場会社名 イー・ギャランティ株式会社 上場取引所

コード番号 8771

URL https://www.eguarantee.co.jp/

表 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江藤 公則

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理部長 (氏名) 邨井 望

(TEL) 03-6327-3609

半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 :有

決算説明会開催の有無

:有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日~2024年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利:	益	親会社株主 する中間約	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	4, 878	8. 4	2, 380	1. 3	2, 438	3. 3	1, 636	5. 2
2024年3月期中間期	4, 501	8. 4	2, 348	16.4	2, 360	14. 9	1, 555	10. 9
(注) 匀 任 利 益 2025 年 3 日	抽山閉期 1	687百万田	(1 9%)	20	24年3日期山門	見相 1	656百万円(12 30%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円銭
2025年3月期中間期	34. 30	33. 90
2024年3月期中間期	32. 72	32. 08

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	30, 044	24, 314	74. 0	465. 70
2024年3月期	30, 109	24, 126	73. 7	465. 10

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 22,236百万円 2024年3月期 22,179百万円

2. 配当の状況

		年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円 銭	円銭	円 銭	円 銭	円銭		
2024年3月期	_	0.00	_	35. 00	35. 00		
2025年3月期	_	0.00					
2025年3月期(予想)			_	37. 00	37. 00		

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

								2771101	/
	売上高	- i	営業利	益	経常利	益	親会社株主 する当期紅	に帰属 ・利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	10, 100	10. 2	5, 100	5. 2	5, 200	6.1	3, 450	5. 7	72. 34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 :有 新規 1社(社名) クレジット・ギャランティ10号匿名組合

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 :有

(注)詳細は、添付資料6ページ「中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 ② ①以外の会計方針の変更 : 無 ③ 会計上の見積りの変更 : 無 ④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2025年3月期中間期	47, 752, 100株	2024年3月期	47, 690, 100株
2025年3月期中間期	2, 490株	2024年3月期	1,870株
2025年3月期中間期	47, 710, 874株	2024年3月期中間期	47, 528, 516株

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合 平具付に記載されている未根兄週し寺の行米に関する記述は、当社か現任人手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載いたします。また、当社は2024年11月7日(木)に機関 投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定であります。

○添付資料の目次

1.当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 当中間期の経営成績に関する説明	2
(2) 当中間期の財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	4
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 当中間期の経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における企業倒産件数は前年同期比18.6%増加の4,990件(帝国データバンク調べ)となりました。物価高、人手不足、コロナ支援策の縮小などを受け、企業倒産件数は2022年5月以降、29ヵ月連続で前年同月比増加となっており、金利上昇や金融機関の融資姿勢の慎重化等により、今後も中小企業を取り巻く経営環境は厳しく、企業倒産件数は増加基調が続く見通しとなっております。

このような環境下、信用リスク保証サービスは引き続き堅調に推移いたしました。市場競争力を向上させるべく、販売提携先の拡充や営業人員の増加などにより、営業資源の拡大を図ることで新規顧客の取り込みを強化してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間末における保証残高は1兆6,131億円(前年同期比28.0%増加)、保証債務は7,917億円(前年同期比8.2%増加)となりました。倒産数増加を背景とした保証履行増加等の影響で原価率が悪化しましたが、新規契約の増加と保証債務の堅調な増加を背景として売上は拡大し、売上高は4,878,995千円(前年同期比8.4%増加)、売上総利益は3,761,858千円(前年同期比2.0%増加)となりました。なお、リスクポートフォリオ見直しの効果により、下期以降の原価率は改善見込みであります。また、営業利益2,380,055千円(前年同期比1.3%増加)、経常利益2,438,787千円(前年同期比3.3%増加)、親会社株主に帰属する中間純利益1,636,498千円(前年同期比5.2%増加)となりました。

当中間連結会計期間における経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益の2025年3月期連結業績予想に対する進捗率はそれぞれ46.9%、47.4%となりました。

当中間連結会計期間の決算補足説明資料「2025年3月期中間期 決算説明資料」は、2024年11月7日 (木) に当 社ウェブサイトに掲載しております。

(URL) https://www.eguarantee.co.jp/ir/ir-library/

※ 上記ウェブサイトの「決算説明会資料」に掲載しております。

(2) 当中間期の財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ0.2%減少し、30,044,497千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ11.7%減少し、15,774,759千円となりました。これは、有価証券が800,000千円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ16.6%増加し、14,269,738千円となりました。これは、投資有価証券が1,973,723千円増加したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ4.2%減少し、5,729,873千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ4.3%減少し、5,614,590千円となりました。これは、前受金が248,845千円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と同額の115,282千円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ0.8%増加し、24,314,624千円となりました。これは、非支配株主持分が130,461千円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、2024年5月15日に公表いたしました売上高10,100百万円、営業利益5,100百万円、経常利益5,200百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3,450百万円から変更はございません。今後の経済情勢及び業績の推移により、通期の見通しについて見直しが必要になった場合には速やかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

	(単位:		
	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)	
資産の部			
流動資産			
現金及び預金	15, 043, 874	12, 926, 757	
売掛金	81, 200	74, 010	
有価証券	800,000	_	
前払費用	1, 455, 164	2, 255, 096	
未収入金	233, 036	192, 962	
その他	258, 301	325, 932	
流動資産合計	17, 871, 578	15, 774, 759	
固定資産			
有形固定資産	1, 881, 851	1, 932, 156	
無形固定資産	148, 820	154, 208	
投資その他の資産			
投資有価証券	9, 610, 979	11, 584, 703	
繰延税金資産	139, 627	139, 627	
その他	456, 164	459, 042	
投資その他の資産合計	10, 206, 771	12, 183, 372	
固定資産合計	12, 237, 443	14, 269, 738	
資産合計	30, 109, 022	30, 044, 497	
負債の部		· · ·	
流動負債			
買掛金	30, 624	65, 671	
未払法人税等	820, 082	798, 696	
前受金	4, 481, 814	4, 232, 969	
保証履行引当金	344, 229	371, 835	
賞与引当金	10,000	, 	
預り金	54, 189	38, 226	
その他	125, 910	107, 190	
流動負債合計	5, 866, 851	5, 614, 590	
固定負債		-,,	
長期未払金	115, 282	115, 282	
固定負債合計	115, 282	115, 282	
負債合計	5, 982, 134	5, 729, 87	
純資産の部		-, ,	
株主資本			
資本金	3, 872, 849	3, 917, 799	
資本剰余金	3, 282, 849	3, 327, 799	
利益剰余金	15, 024, 936	14, 992, 346	
自己株式	△964	∆999	
株主資本合計	22, 179, 669	22, 236, 944	
新株予約権	159, 885	159, 885	
非支配株主持分	1, 787, 333	1, 917, 794	
純資産合計	24, 126, 887	24, 314, 624	
負債純資産合計	30, 109, 022	30, 044, 497	
只贝陀貝庄口叫	50, 109, 022	30, 044, 49	

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 中間連結損益計算書

		(単位:千円)
	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	4, 501, 052	4, 878, 995
売上原価	812, 430	1, 117, 136
売上総利益	3, 688, 622	3, 761, 858
販売費及び一般管理費	1, 340, 109	1, 381, 803
営業利益	2, 348, 512	2, 380, 055
営業外収益		
受取利息	19, 103	43, 091
持分法による投資利益	_	10, 532
その他	1, 473	6, 128
営業外収益合計	20, 576	59, 752
営業外費用		
持分法による投資損失	8, 903	_
雑損失	<u> </u>	1, 020
営業外費用合計	8, 903	1,020
経常利益	2, 360, 186	2, 438, 787
税金等調整前中間純利益	2, 360, 186	2, 438, 787
法人税等	703, 504	751, 259
中間純利益	1, 656, 681	1, 687, 527
非支配株主に帰属する中間純利益	101, 671	51, 029
親会社株主に帰属する中間純利益	1, 555, 010	1, 636, 498

中間連結包括利益計算書

		(単位:千円)_
	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1, 656, 681	1, 687, 527
中間包括利益	1, 656, 681	1, 687, 527
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1, 555, 010	1, 636, 498
非支配株主に係る中間包括利益	101, 671	51, 029

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。